

2008 年度

科目名 日本語教育実習 B	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 樋口 裕子
授業テーマ 実際に授業を計画し、実施し、評価する。		
授業の概要と目標 この授業は、前期の「日本語教育実習 A」も履修することを前提としている。 夏休み（期間は相談して決める。昨年度は9月上旬～中旬）に実習を行うために準備し、実習を実施する。他に中国山東省（威海外国語進修学院）で実習を行う可能性もある。夏休みの活動を「日本語教育実習 B」の授業として振り替え、後期には実習を振り返る活動を行う。		
評価方法 後期の「日本語教育実習 B」については、以下の3点により評価する。 ・授業への貢献度（(出席回数、他学生の発表のコメントの内容） ・実習内容 ・実習後のレポート		
テキスト 特に指定しない。適宜授業中にプリントを配布する。	著者	出版社
参考書 授業中に指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 夏休みに行う4日前後の実習、および、その準備（学内での合宿を含む）を、後期の13回分の授業とみなす。 <夏休み> 1. ～ 5. 実習準備（1）～実習準備（5） 6. ～13. 実 習（1）～実 習（8） ★ 実習の実施時期については相談して決める。昨年度は9月に実施している。 ★ 実習については、中国山東省威海外国語進修学院で行う実習を選択できる可能性もある。詳しい内容説明は授業中に行う。 <10月> 14. ～15. まとめ（1）～まとめ（2）		